

カナダの金融市場動向 Weekly Report

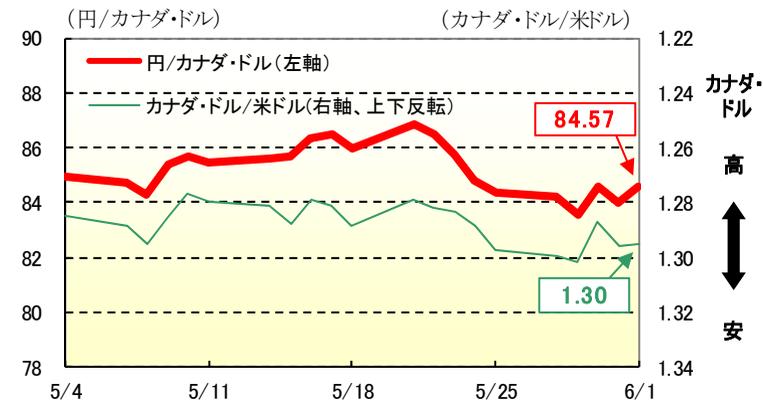
【2018年5月26日～2018年6月1日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は上昇した一方、カナダ5年国債利回りは低下しました。

先週は、イタリアで政治の先行き不透明感が高まったことが世界的に市場のリスク回避的な姿勢へとつながり、カナダ・ドル円やカナダ金利の重しとなりました。30日(現地)には金融政策決定会合が開催され、カナダ銀行(中央銀行)は市場予想通り政策金利の据え置きを決定しました。ただ、発表された声明文が早期の追加利上げを期待させる内容であったことが、カナダ・ドル円およびカナダ金利の上昇圧力となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年5月4日～2018年6月1日)



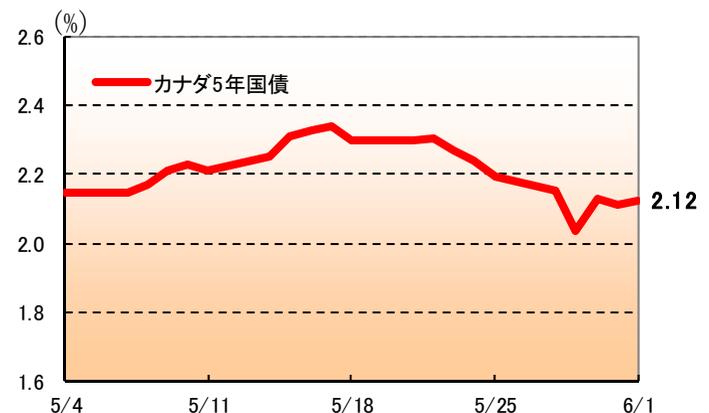
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週、カナダでは5月の雇用統計の発表があり、堅調な結果となれば7月の追加利上げを後押しするものとみられます。そのほかには同月の住宅着工件数が発表される予定です。

米国では特に注目すべき経済指標の発表は予定されていません。引き続き、NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉をはじめ米国の通商政策の姿勢に注目が集まるとみえています。

【カナダ 金利推移】 (2018年5月4日～2018年6月1日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>